

今日の箇所は二つの読み方が出来るのでした。一つは「ファリサイ派の人達との断食問答」として読む読み方で、昨週、紹介させて頂きました。それは、ここにあるイエス様の「花婿と一緒にいるのに、婚礼の客に断食をさせることがあなたにできようか。しかし、花婿が奪い取られる時が来る。その時には、彼らは断食することになる」という言葉の解き明かしでもありました。今日はもう一つの読み方です。

この2つの読み方がどうして生じるのかと申しますと33節の「人々はイエスに言った。『ヨハネの弟子たちは度々断食し、ファリサイ派の弟子たちも同じようにしています。しかし、あなたの弟子たちは飲んだり食べたりしています。』」で、最初にある「人々は」を、①ファリサイ派の人たちが言っているのか（＝前の口語訳はそう翻訳していました）、②世の中の人たちと採るかの違いになります（＝マルコ福音書ではそうになっており、新しい「聖書協会共同訳」でも「人々は」となっています）。従って、世間の人たちが洗礼者ヨハネの弟子たちとファリサイ派の弟子たちとイエス様の弟子たちを”比べてあれこれ言っている”ということになります。これは私たちも日頃、出会う世間の人たちの態度ではないでしょうか。いろいろな宗教や宗派を比べてはあれこれ言われるのです。しかも「弟子たち」の姿や生活を論じてイエス様やキリスト教のことを批判されるのです。私たちも同様な批判を受けますし、私たち自身がその的にもなります。

その批判に対してイエス様が答えられた言葉が有名な「だけれも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはいしない。そんなことをすれば、新しいぶどう酒は革袋を破って流れ出し、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は新しい革袋に入れなければならない」です。当時の「新しいぶどう酒」はまだ発酵して膨張する力が強いので、入れ物はちゃんとその圧力を受け止められるもの＝新しい革袋でないと破けてしまうと。

“古い革袋”はもう伸び切ってしまっているので受け止めら

れないという意味です。これは明らかに、イエス様のメッセージや教えこそ“新しいぶどう酒”であり、それを受け止めるためには“新しい器＝新しい考え方や生活の仕方”が必要だという教えなのでしょう。旧来の古い宗教や従来の考え方や尺度では収まり切れないということでしょう。確かにその通りですね、日々新しい器を求められています！

ただ、最後にイエス様は「古いぶどう酒を飲めば、だれも新しいものを欲しがらない。『古いものの方がよい』と言う」ものだと言われています。新しい生き方を始めても、困難やうまく行かないことがあると『やはり昔の方が良かった』となると！これは私たち人間の本質を言い当てておられます。新しい器が自分にとってしっくり来るまでは時間が掛かります。古い器からの“誘惑”はいつも起って来ます。それに抗する志と力を与えてくださりと祈りつつ行きましょう！

\*\*\*\*\*

#### 【今週の集会】

\*聖書研究・祈禱会 I. 4月 2日(水) 20:00  
II. 4月 3日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈禱主題: 守谷伝道所を覚えて

担当者: (水) 阿部 (木) 小岩

祈りに覚える人: 高橋さん 高村子さん

#### 【教勢報告】

主日礼拝 男20 女61 計81  
祈禱会 I. 男3 女2 計5 II. 男1 女7 計8  
日曜学校 幼稚科5 小中科10 計15  
羊雲の会<3月25日(火)>: 男0 女5 計5  
\*\*\*\*\*

#### 【次週礼拝】 4月 6日(日)

聖書: 箴言 12:12～20

コロサイの信徒への手紙 2:6～8

説教: 「年間聖句ー主につながり、根を張り  
枝をひろげて」 武田真治牧師

讃美歌: 296(1)、32、308(聖歌隊)、443、505

#### 【次週当番表】 81(1～2)、28(1)

司式: 坂田長老 奏楽: 羽倉長老 礼拝: 保坂長老

配餐: 茨木 保坂 相浦 飯田

献金: 大野 岡田 受付: 西尾 森本

会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田

看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

#### 【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会  
礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会  
・長老会 ・4月誕生祝福

# 週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2025年 3月 30日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33  
TEL&FAX 048-771-6549  
<http://www.ageo-church.org/>